



# 白子川の西武線下流における アユ調査

井口 卓磨

今回はアユ調査の結果と、アユの現状について話そうかと思います。

西武線下流（宮本橋付近）には大きな深みがあり、そこには様々な魚が生息しています。上流部の中では水深が比較的深く、アユの放流もこの付近で行なったためアユはよく見られます。8月2日に取れたアユは3匹で11センチが2匹、9センチが1匹でした。他にはカワムツ、コイ、ギンブナ、モツゴ、アブラハヤ、アメリカザリガニ、エビ、カワニナなどがいました。

アユの放流も3年が経ちました。白子川でアユの放流を行った事で、アユが白子川で生きて行けるという事が証明できました。この事はとても大きな事です。つまり白子川がアユが生きて行けるほどに改善したという事ですから。

しかしここから私が最も言いたい事なのです。白子川のアユは8月で11センチという小ささです。近くの黒目川や柳瀬川では15センチを超え、20センチに至るものまでいます。

何故白子川のアユは大きくならないのでしょうか。これには様々な要因があります。しかし私はこのように捉える事ができると思います。白子川はアユが生存する事はできるが、成長する事ができるほどに良くはない。

アユ調査をこれまでやってきましたが、宮本橋付近の深い場所では歩くと汚いゴミが舞いました。アユはそのような場所で、ゴミが沈殿した上澄みで暮らしているのです。成長したくても成長できないそれが今の白子川なのです。会の皆さん、地域の皆さんの協力で白子川はアユが暮らせる程に綺麗な川になりました。しかしまだアユは成長できないのです。

今の状態は決してゴールではないのです。これからも白子川をより良くして、いつかアユが隣の黒目川のように荒川から自然と遡上してきて白子川で世代交代をする。そのような素晴らしい環境を作れるよう、より一層努力をしなくてはならないと感じました。

（立教新座高校3年 生物部）

## 活動 記録

- 5/ 7(日) 稚アユのテスト放流(緑橋と宮本橋下流)
- 18(木) 泉新小6年1組、川の会設立外バイク
- 18(木) “源流の森” 研究会
- 28(日) 定例活動
- 6/ 4(日) 全国一斉川の調査参加
- 16(金) “源流の森” 研究会
- 18(日) 定期総会
- 19(月) 「環境パネル展」出展(～6/26、キョウ)
- 20(火) 大南小4年担任の川体験
- 25(日) 定例活動
- 29(木) 大二小2年生「町たんけん」来訪(30名)
- 7/ 4(火) パルシステム結果報告会参加(06助成金)
- 8(土) 大南小4年生の川体験
- 10(月) 泉新小6年1組が、全校集会で「WE LOVE 白子川の会」活動経過と設立を発表

- 7/15(土) 泉新小「WE LOVE 白子川の会」第1回川活動
- 16(日) 大南小4年生の白子川授業
- 21(金) “源流の森” 研究会
- 23(日) 定例活動
- 24(月) 石神井町のフリースクール「学び舎しゃんてい」の生徒の白子川体験
- 8/18(金) “源流の森” 研究会
- 19(土) 泉新小「WE LOVE 白子川の会」第2回川活動
- 20(日) 源流まつり企画(案)提出切
- 25(金) 運営会議(源流まつり企画検討)
- 26(土) 定例活動
- 27(日) 定例活動
- 29(火) 会報51号印刷  
※毎月、定例活動前日に運営会議